



活性化の切り札に 路面電車の環状化は必要

文：副会長 斉藤 桂

岡山市の高谷市長は日本経済新聞の記者に路面電車の環状化は必要と明確に語った。

■中長期のビジョンの大きなテーマになるのが路面電車の環状化、まずは駅に乗り入れJR吉備線に接続。ただ、財政事情がきびしいので優先順位をつけないといけないと語っている。

■岡山商工会議所では1992年にヨーロッパの都心再開発の視察を実施し、1994年には『人と緑の都心1kmスクエア構想』を発表した。岡山の代表的な商店街・表町商店街の活性化と路面電車環状化構想を絡めたものである。岡山の中心部1km四方を路面電車でぐるっと環状化して、その内側を緑いっぱい歩いて楽しいにぎわいと潤いにあふれた空間を作ろうとしたものである。

■この構想は今でも新鮮で、ちょっと色褪せてはいない。1kmスクエア内の緑とはもちろん西川緑道公園を指している。構想から10年過ぎ市長も代わったが、路面電車延伸に関しては「する」とも「しない」ともなんと要領の得ないスタンスであった。岡山市も路面電車のことには触れてもらいたくない風情で、交通社会実験の報告書には「今後さらに路面電車延伸に関する



- 情報公開を行なう」と明記されてい
- るにもかかわらず無いに等しく、
- 無いからRACDAがかわら版を
- 発刊することになったわけである。
- ■高谷市長になってから、にわか
- まちづくりの具体的プランが出て
- きた。西川緑道公園の空間の整備
- も路面電車も、何年もまちづくりに
- 係わる人々が提言してきたことで
- ある。西川緑道公園と路面電車、
- これがうまくリンクされたら岡山の
- 中心部は大きく変わることは間違
- いない。路面電車が環状化すると
- いうことは中心部の人々が恩恵を
- 受けるということではなく、動線が
- つながるとのことだと理解して
- もらいたい。路面電車が駅に乗り
- 入れ吉備線がLRT化したら総社
- や一宮から表町に直行できる、ま
- たその逆のケースもあるというこ
- となのである。また市民だけでは
- なく観光客にも受け入れられるだ
- ろう。私たちRACDAは市民の
- 立場から人と環境に優しい路面電
- 車と都市の未来を考えて、利用し
- やすい公共交通システムの実現を
- めざして10年が過ぎた。これが
- らも市民の目線で利用しやすい交
- 通まちづくり運動を続け、次世代
- に継承していきたい。



牛神様 ～田倉牛神社・備前市吉永町～

正月の大祭、1月5日



■山陽本線の吉永駅を出ると山際に「牛神様」と呼ばれている田倉牛神社が見えてきます。
 ■ご神体は石に彫刻された牛で、その回りに備前焼の牛馬像が無数に積み、10万とも20万とも言われご神体になっています。江戸時代、岡山藩が牛を飼うことを奨励し、また、農家には貴重な労働源でもあったことから、信仰が広まったとされています。

● ■お参りの際には牛像を一体供え、既に祈願者が供えた牛像一体を借りて帰り、大願成就すると、もう一体の牛像を供えて、倍返しするという風習があります。

● ■正月・五月・九月の5日は大祭で、特に正月5日は多くの参拝者が訪れます。この日にはJR吉永駅から臨時のシャトルバスが運行されます。普段の神社参りとはちょっと違った風習が伝わる牛神様へお出かけされてはいかがでしょうか？



備前焼でできた牛の数が奉納されている

岡山版バスマップ 最新版できました



年末年始のバス・列車の運行予定

凡例 ○: 通常ダイヤ
 △: 日祝ダイヤ
 ※: 正月特別ダイヤ

◎鉄道・バス各社では年末年始において、特別ダイヤで運行されます。確認されている限りでの運行予定をお知らせします。(なお、詳しい内容については各運行会社へお問い合わせください。)

	2005/12/29	12/30	12/31	2006/1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	備考
JR	○	○	○	○	○	○	○	○	12/31 深夜～1/1 早朝にかけて吉備線で臨時列車運行
井笠バス	○	△	※	※	※	※	○	○	
宇野バス	△	△	※	※	※	△	○	○	12/31と1/1-2では多少ダイヤが違います
岡電バス	△	△	※	※	※	※注	○	○	注: 1/3のバラ園・中庄方面は日祝ダイヤ
岡電(電車)	△	△	※ ₁	※ ₂	※ ₂	○	○	○	12/26～1/6の間は冬休みダイヤ
下電バス	△	△	※	※	※	△	○	○	内尾方面は12/31～1/2の間運休
中鉄バス	△	△	△	※	※	※	○	○	1/1～1/3の間、備中高松駅⇄稲荷山間で臨時バス運行
備北バス	○	△	△	※	※	※	○	○	岡山～地頭線は1/1～1/5の間運休
両備バス	△	△	※	※	※	△	○	○	